



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3954 URL http://www.showa-paxxs.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野寺 香一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 清水 貴雄 TEL 03-3269-5111  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	16,949	5.0	831	△25.1	1,068	△16.5	761	△15.3
2022年3月期第3四半期	16,135	-	1,110	-	1,280	-	899	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 660百万円 (△19.5%) 2022年3月期第3四半期 820百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	171.61	-
2022年3月期第3四半期	202.61	-

(注) 前第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	30,844	20,551	64.2	4,456.73
2022年3月期	29,396	20,076	66.0	4,367.75

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 19,788百万円 2022年3月期 19,392百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	19.00	-	21.00	40.00
2023年3月期	-	20.00	-		
2023年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,100	2.3	1,170	△16.6	1,360	△14.1	950	△13.8	213.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	4,450,000株	2022年3月期	4,450,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	9,961株	2022年3月期	9,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	4,440,039株	2022年3月期3Q	4,440,039株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)における我が国経済は、4～6月期は個人消費や設備投資、在庫投資等の内需の上振れが全体を押し上げてプラス成長となりましたが、7～9月期は新型コロナウイルス感染症の感染第7波や物価高を受けて個人消費が伸び悩んだほか、輸入が大幅に増加したことでマイナス成長となりました。10～12月期は財輸出が米欧中の景気悪化を受けて減少した一方、全国旅行支援や水際対策の緩和を受けたサービス消費・インバウンド需要の回復、輸入の反動減でプラス成長の予想が散見されます。

鉱工業生産指数については4月と5月は中国での都市封鎖の影響を受けて低下しましたが、6月に都市封鎖の解除などを受けて上昇に転じました。7月と8月は部材供給不足の影響が緩和したことなどから上昇していましたが、9月と10月は上昇の反動などから低下、11月は上昇となりましたが12月は低下して弱含みの基調となりました。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であり、当第3四半期連結累計期間の業績は内外の工業生産動向を反映したものになりました。また、資源価格やエネルギー価格の高止まりが継続している状況が続いております。連結売上高は16,949百万円で前年同期から814百万円の増収でした。物価高騰による価格転嫁が進んだ影響で増収となり、一方で原価率上昇の抑制に努めましたが営業利益831百万円(前年同期比279百万円の減益)、経常利益1,068百万円(同211百万円の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益761百万円(同137百万円の減益)となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次の通りであります。

#### ○重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋の業界全体の当第3四半期連結累計期間出荷数量(ゴミ袋を除く)は、前年同期を3.5%下回りました。農水産物、塩、砂糖・甘味、肥料の用途は増加しましたが、合成樹脂、化学薬品、セメント、製粉、飼料の用途が大きく減少しました。重包装袋の主原材料であるクラフト紙の価格は、原燃料費の急騰を背景に、値上がりが続きました。

当社のクラフト紙袋の売上数量は前年同期比3.4%減少しました。塩、砂糖・甘味、米麦、その他食品の用途は増加しましたが、主力の合成樹脂用途が大きく減少しました。また、第2四半期までは好調だった化学薬品の用途も減少に転じました。

子会社の九州紙工(株)は、米麦袋の減少を一般袋で補い、売上数量は前年同期から2.7%増加しました。タイ昭和パックス(株)の当第3四半期連結累計期間(1～9月)は、新型コロナウイルス感染者発生による生産体制への影響は落ち着いたものの、主に自動車関連の顧客の減産が影響して、売上数量は前年同期と比べ10.5%の減少となりました。山陰製袋工業(株)の当第3四半期連結累計期間(1～9月)は、主力の両底貼袋、および米麦袋が減少したことで、売上数量は前年同期比3.3%の減少となりました。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は10,264百万円で、前年同期に対し1.9%の増収となりました。

#### ○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第3四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期から産業用が減少、農業用は増加で、全体では0.7%減少しました。主原材料であるポリエチレン樹脂の価格は、原油・ナフサ価格の上昇から値上げが繰り返されました。ナフサ価格は落ち着いたものの、燃料コストなど諸経費の上昇により、ポリエチレン樹脂価格は高止まりしています。

当社の売上数量は、産業用・農業用の合計で前年同期比2.1%の減少でした。産業用は減少、農業用は僅かに減少しました。産業用は熱収縮包装用エラストが増加しましたが、アスベスト隔離シート、発泡フィルム、一般広幅フィルムが減少しました。農業用はハウス用農サクビ、サイレージ用エスラップ・グリーンが増加しましたが、バーナルハウス、フルーツ物語、強化ポリエチレンフィルムが減少しました。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は3,093百万円で、前年同期に対して11.9%の増収となりました。

## ○コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンの業界の出荷量は、国内生産品と海外生産品を合わせると、化学工業品、合成樹脂、食品、飼料の用途が増加しました。全体では前年同期から10.0%の増加となりました。海外からの輸入量も前年から増加しています。

当社の売上数量は、ワンウェイ・フレコン「エルコン」、大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」は前年同期比で微減でした。液体輸送用1,000ポリエチレンバッグ「エスキューブ」、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」は減少しました。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は1,674百万円で、前年同期に対して8.9%の増収となりました。

## ○不動産賃貸

賃貸契約に一部解約がありました。当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は前年同期から僅かに減少して188百万円でした。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末総資産は30,844百万円で、前連結会計年度末に比べて1,448百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金978百万円、受取手形及び売掛金233百万円、電子記録債権274百万円、棚卸資産486百万円、有形固定資産177百万円およびソフトウェア107百万円です。主な減少要因は投資有価証券720百万円です。

## (負債)

負債合計は10,293百万円で、前連結会計年度末に比べて973百万円増加しました。主な増加要因は支払手形及び買掛金527百万円、電子記録債務776百万円、営業外電子記録債務220百万円およびその他の流動負債153百万円です。主な減少要因は未払法人税等178百万円、賞与引当金156百万円および繰延税金負債237百万円です。

## (純資産)

純資産合計は20,551百万円で、前連結会計年度末に比べて474百万円増加しました。主な増加要因は利益剰余金579百万円および為替換算調整勘定352百万円、主な減少要因はその他有価証券評価差額金508百万円です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べると増収減益の結果となりました。期初から続く原材料やエネルギー価格などの高止まりによる原価率の上昇と第3四半期以降の主力製品の需要減少が減益の主要因です。当連結会計年度(2022年4月1日～2023年3月31日)通期の業績見通しにつきましては当初の予想(2022年5月12日発表)を変更せず、連結売上高22,100百万円、連結経常利益1,360百万円、親会社株主に帰属する当期純利益950百万円を見込みます。

なお、連結子会社である㈱ネスコにおいて、同社の取引先に対する債権につき期日が経過しても売掛金が入金されない事態となり、取立不能又は取立遅延のおそれが生じました。詳細は添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)」をご覧ください。今後の回収状況により貸倒引当金の計上などが必要となり業績予想に影響を与えるような場合は速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,047,076	9,025,318
受取手形及び売掛金	6,159,514	6,393,037
電子記録債権	678,800	953,005
商品及び製品	1,074,091	1,349,042
仕掛品	112,213	152,880
原材料及び貯蔵品	1,100,263	1,271,516
その他	296,469	218,334
貸倒引当金	△11,638	△13,297
流動資産合計	17,456,791	19,349,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,653,856	8,837,856
減価償却累計額	△6,181,031	△6,372,760
建物及び構築物(純額)	2,472,824	2,465,095
機械装置及び運搬具	10,449,126	10,763,080
減価償却累計額	△9,037,804	△9,419,433
機械装置及び運搬具(純額)	1,411,322	1,343,646
土地	900,539	919,040
建設仮勘定	27,108	264,857
その他	853,623	873,182
減価償却累計額	△770,569	△793,508
その他(純額)	83,053	79,673
有形固定資産合計	4,894,848	5,072,314
無形固定資産		
ソフトウェア	146,031	253,641
無形固定資産合計	146,031	253,641
投資その他の資産		
投資有価証券	6,014,671	5,294,171
退職給付に係る資産	687,413	700,426
繰延税金資産	59,522	63,983
その他	144,444	117,829
貸倒引当金	△7,660	△7,660
投資その他の資産合計	6,898,392	6,168,751
固定資産合計	11,939,272	11,494,707
資産合計	29,396,063	30,844,546

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,356,599	3,884,584
電子記録債務	1,529,767	2,306,258
短期借入金	1,060,000	976,000
未払法人税等	267,767	89,430
賞与引当金	388,751	232,150
役員賞与引当金	21,680	12,090
設備関係支払手形	18,659	15,052
営業外電子記録債務	45,709	266,536
その他	654,484	807,619
流動負債合計	7,343,420	8,589,722
固定負債		
長期借入金	66,000	66,000
繰延税金負債	1,357,706	1,120,519
役員退職慰労引当金	150,127	118,549
退職給付に係る負債	229,976	249,528
資産除去債務	4,435	4,435
長期預り保証金	162,993	134,164
その他	4,634	10,277
固定負債合計	1,975,873	1,703,474
負債合計	9,319,293	10,293,196
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	15,285,967	15,865,878
自己株式	△9,441	△9,441
株主資本合計	16,206,872	16,786,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,774,361	2,265,945
為替換算調整勘定	162,937	515,480
退職給付に係る調整累計額	248,826	219,836
その他の包括利益累計額合計	3,186,125	3,001,263
非支配株主持分	683,771	763,303
純資産合計	20,076,770	20,551,350
負債純資産合計	29,396,063	30,844,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	16,135,097	16,949,650
売上原価	13,101,675	14,132,601
売上総利益	3,033,422	2,817,048
販売費及び一般管理費	1,922,811	1,985,597
営業利益	1,110,611	831,450
営業外収益		
受取利息	1,954	2,285
受取配当金	145,680	190,507
為替差益	19,954	40,643
その他	9,947	10,381
営業外収益合計	177,536	243,818
営業外費用		
支払利息	6,241	6,017
その他	1,242	290
営業外費用合計	7,483	6,307
経常利益	1,280,663	1,068,961
特別損失		
固定資産除却損	3,105	2,955
投資有価証券売却損	2,824	-
特別損失合計	5,930	2,955
税金等調整前四半期純利益	1,274,733	1,066,006
法人税、住民税及び事業税	324,977	259,156
法人税等調整額	4,001	△1,521
法人税等合計	328,979	257,634
四半期純利益	945,754	808,371
非支配株主に帰属する四半期純利益	46,169	46,418
親会社株主に帰属する四半期純利益	899,585	761,952



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	945,754	808,371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,051	△510,103
為替換算調整勘定	△130,891	391,714
退職給付に係る調整額	△21,049	△28,989
その他の包括利益合計	△124,889	△147,379
四半期包括利益	820,864	660,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	786,251	577,090
非支配株主に係る四半期包括利益	34,613	83,901

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(債権の取立不能または取立遅延のおそれについて)

当社の連結子会社である㈱ネスコ（以下「ネスコ」）において、ネスコが納入した原材料を使用して製造した当該取引先の製品に不具合が発生したことを理由とする支払留保の通知があり、期日が経過しても売掛金が入金されない事態となりました。ネスコは製品不具合の詳細説明を求めるとともに、取引基本契約に基づき支払の履行を求める催告を行いました。当該の原材料のみならずすべての売掛金について支払がなされない状態が続く、取立不能または取立遅延のおそれが生じております。当第3四半期連結会計期間末の売掛債権残高381,755千円の取立不能または取立遅延のおそれのある対象債権の回収のために、当該取引先を相手とした訴訟を2022年12月に提起いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	10,076,028	2,764,589	1,538,163	-	14,378,782	1,563,931	15,942,713
その他の収益	-	-	-	192,384	192,384	-	192,384
外部顧客に対する売上高	10,076,028	2,764,589	1,538,163	192,384	14,571,166	1,563,931	16,135,097
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	10,076,028	2,764,589	1,538,163	192,384	14,571,166	1,563,931	16,135,097
セグメント利益	995,416	162,129	23,218	119,913	1,300,678	122,820	1,423,498

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,300,678
「その他」の区分の利益	122,820
全社費用(注)	△312,887
四半期連結損益計算書の営業利益	1,110,611

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	10,264,828	3,093,269	1,674,317	-	15,032,415	1,728,600	16,761,015
その他の収益	-	-	-	188,634	188,634	-	188,634
外部顧客に対する売上高	10,264,828	3,093,269	1,674,317	188,634	15,221,049	1,728,600	16,949,650
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	10,264,828	3,093,269	1,674,317	188,634	15,221,049	1,728,600	16,949,650
セグメント利益	861,239	13,326	13,016	117,150	1,004,733	132,977	1,137,710

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,004,733
「その他」の区分の利益	132,977
全社費用(注)	△306,259
四半期連結損益計算書の営業利益	831,450

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。